

# 生成型安全AI 2.0（公開データ版） 簡易操作手順書

株式会社MetaMoJi

2025年10月

# 目次

1. 生成型安全AI 2.0（公開データ版）概要
2. 生成型安全AIの起動
3. インタラクティブモード
  1. インタラクティブモードとは
  2. インタラクティブモード操作例
4. 自動モード
  1. 自動モードとは
  2. 自動モード操作例
5. ワークシート
  1. ワークシートとは
  2. ワークシートへの転記方法
  3. ワークシートの機能
6. 付録
  1. 留意事項
  2. 動作環境

# 1. 生成型安全AI 2.0（公開データ版）概要

# 1. 生成型安全AI 2.0（公開データ版）概要

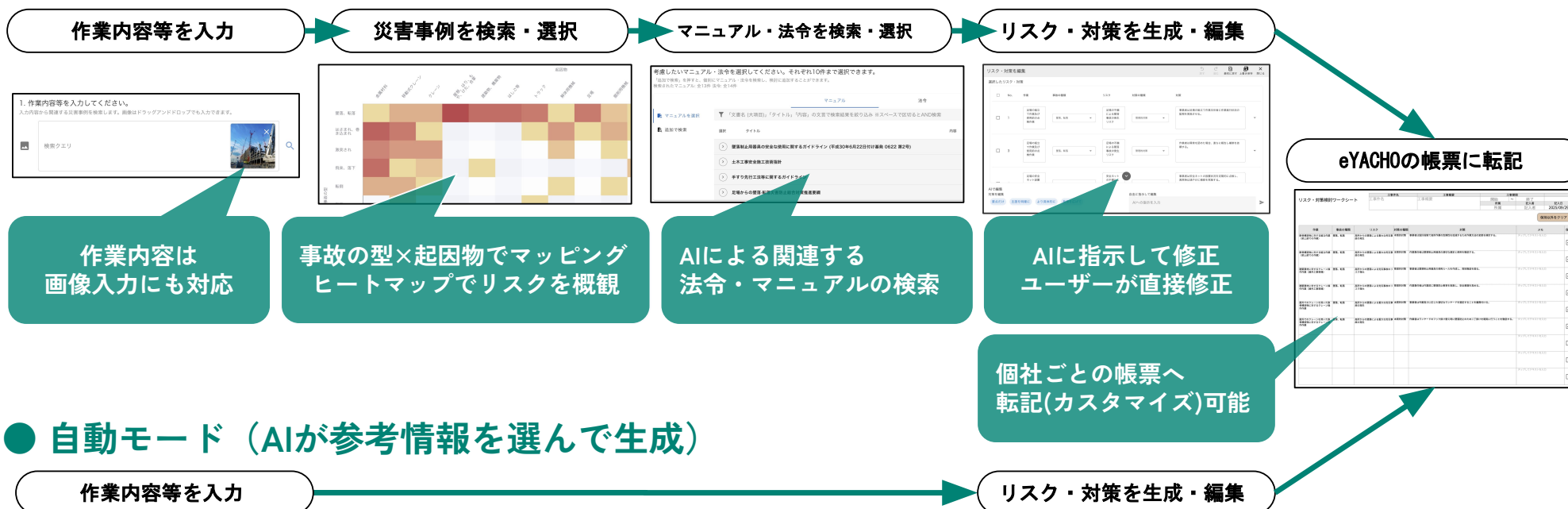
生成型安全AIとは、建設業の作業内容を入力すると、関連する参考情報を基に作業のリスクや対策を生成し、リスクアセスメントを支援するeYACHO/GEMBA Noteのパッケージです。

生成型安全AIでは2つのモードをご使用いただけます。

インタラクティブモード：ユーザーが選択した災害事例やマニュアル・法令を基にリスク・対策を生成

自動モード：AIが自動的に選択した災害事例やマニュアル・法令を基にリスク・対策を生成

## ● インタラクティブモード（自分で参考情報を選んで生成）



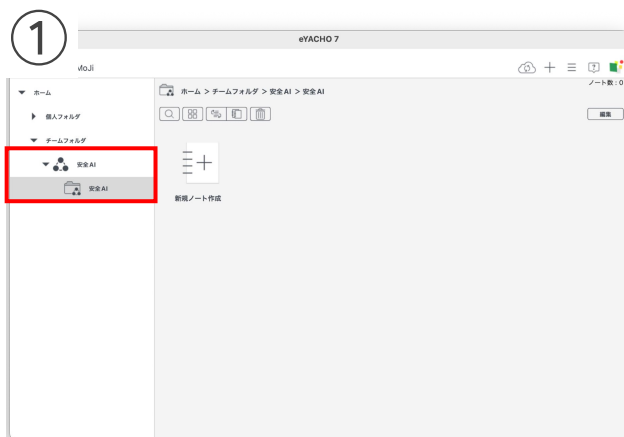
## ● 自動モード（AIが参考情報を選んで生成）

※ iOS/Windows版でご利用いただけます。  
※ スタンダード版以上でご利用いただけます。

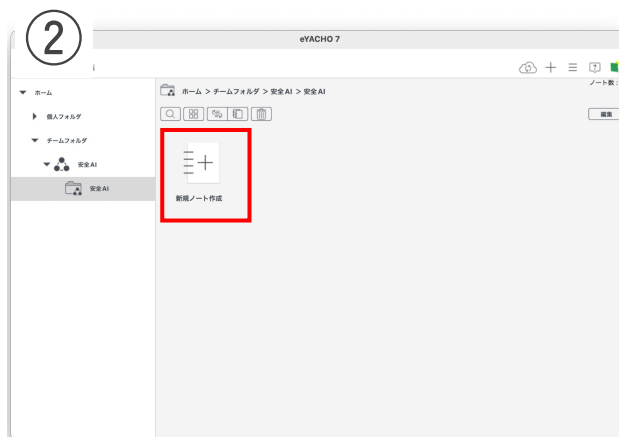
## 2. 生成型安全AIの起動

## 2. 生成型安全AIの起動

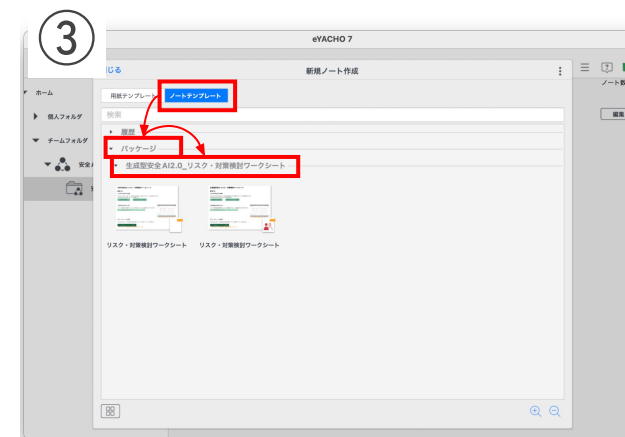
生成型安全AIは、eYACHO/GEMBA Note の リスク・対策検討ワークシート ノートから起動します。



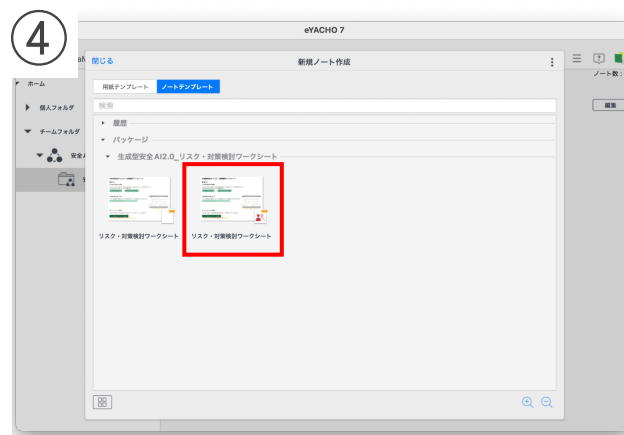
eYACHO/GEMBA Noteにログインし、任意のフォルダを開きます。ここでは、あらかじめ作成しておいた「安全AI」チームフォルダ(※)を開きます。



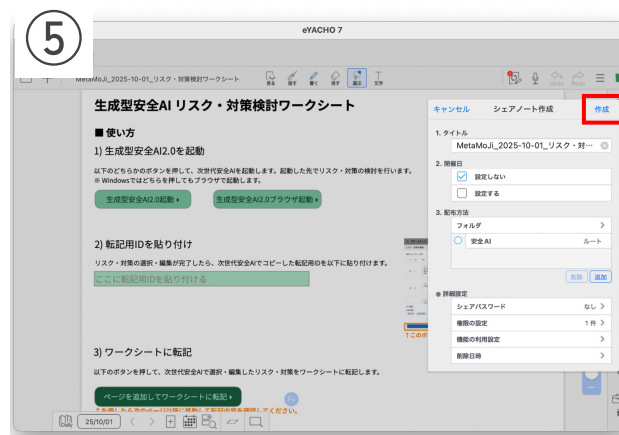
新規ノート作成をタップします。



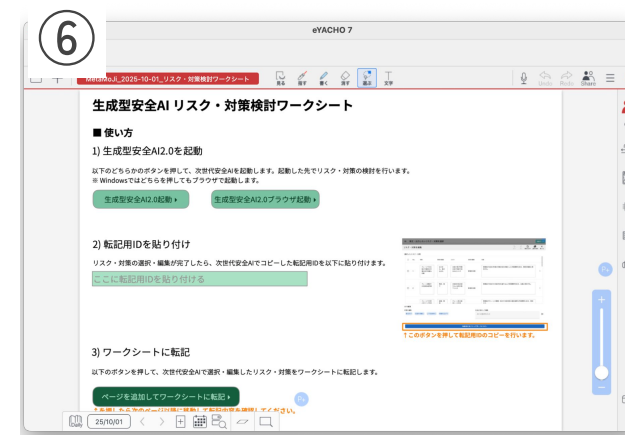
ノートテンプレート>パッケージ>生成型安全AI2.0\_リスク・対策検討ワークシートを選択します。



「リスク・対策検討ワークシート」をタップします。ここではシェアノート版を選択します。



シェアノート作成ダイアログが表示されますので、各設定を行い、作成ボタンをタップします。



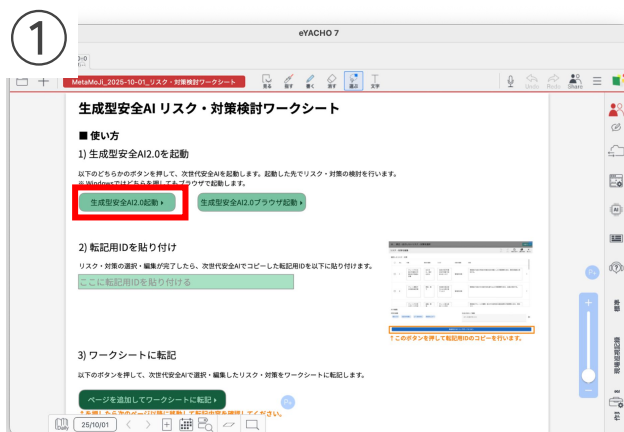
「リスク・対策検討ワークシート」ノートが新規作成されます。

※ チームフォルダの作成方法：[https://product.metamoji.com/manual/business/ja/yacho/v7/html/win/sd\\_t\\_owner.html](https://product.metamoji.com/manual/business/ja/yacho/v7/html/win/sd_t_owner.html)

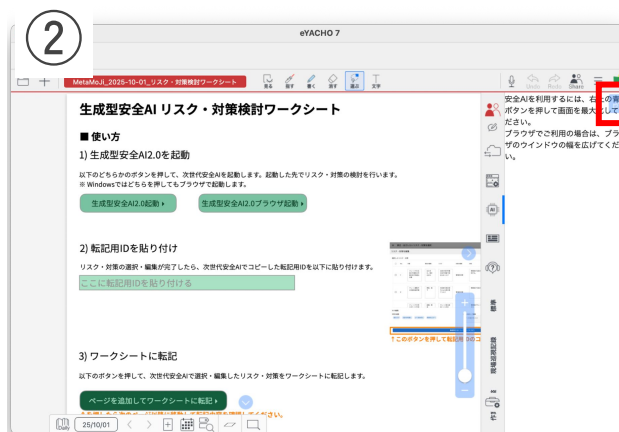
## 2. 生成型安全AIの起動

生成型安全AIの起動方法は、eYACHO/GEMBA Note アプリ内から起動(※)する方法と、ブラウザから起動する方法の2通りがあります。どちらの方法で起動しても機能は同じです。

### アプリ内で起動



[生成型安全AI2.0起動]ボタンをタップします。

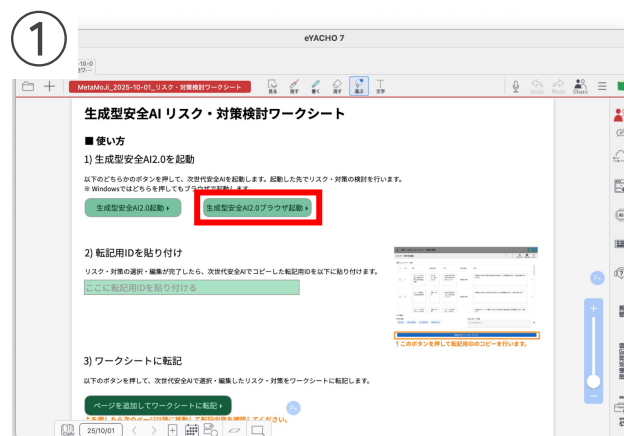


右側のビューが開きます。右上の矢印ボタンをタップして全画面表示にします。



生成型安全AI初期画面がアプリ内で表示されます。

### ブラウザで起動



生成型安全AIブラウザ起動ボタンをタップします。



生成型安全AI初期画面がブラウザで表示されます。

※ Windows版では生成型安全AIはアプリ内で起動できません。「生成型安全AI2.0起動」ボタン、「生成型安全AI2.0ブラウザ起動」ボタン、どちらを押してもブラウザで起動します。

### 3. インタラクティブモード

## 3.1. インタラクティブモードとは

インタラクティブモードとは、ユーザーが段階的に情報を選択・編集しながら、生成型安全AIによるリスク・対策を出力するためのモードです。

インタラクティブモードでは、以下の3ステップを経てリスク・対策を生成します。

### STEP 1 | 災害事例を選択

- ・作業内容等を入力し、その内容から過去の災害事例を検索します。
- ・リスク・対策の生成の参考にしたい災害事例を選択します。

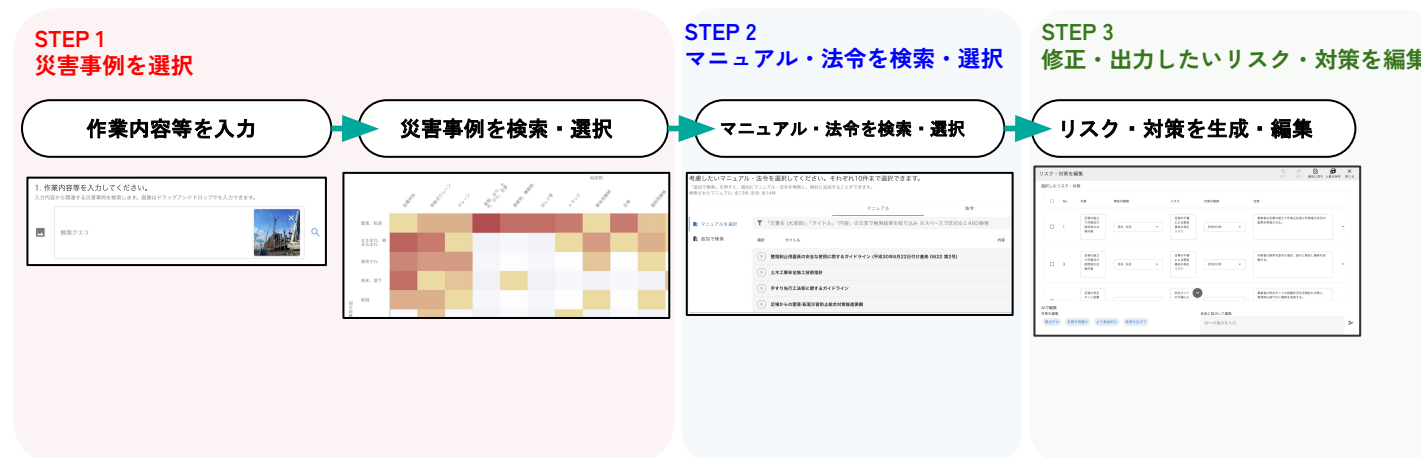
### STEP 2 | マニュアル・法令を検索・選択

- ・STEP 1 で選択した災害事例などに関連する、各種マニュアル・法令を検索します。
- ・リスク・対策の生成の参考にしたいマニュアル・法令を選択します。

### STEP 3 | 修正・出力したいリスク・対策を編集

- ・STEP 1 および STEP 2 の結果をもとに、リスク・対策の生成結果を示します。
- ・生成結果から、eYACHO/GEMBA Noteに転記したいリスク・対策を選択します。
- ・選択したリスク・対策の文言を必要に応じて修正を行い、転記を行います。

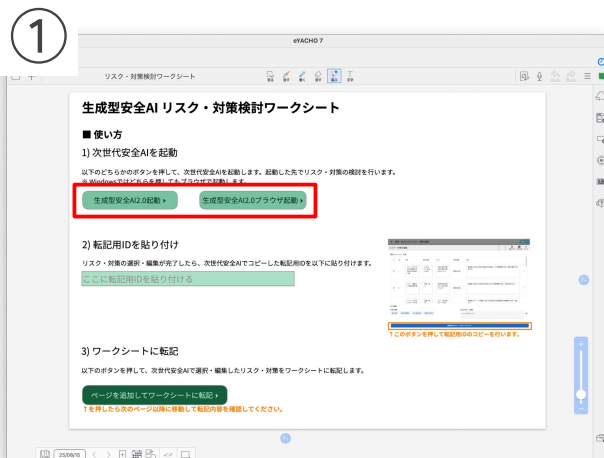
#### ● インタラクティブモード（自分で参考情報を選んで生成）



## 3.2. インタラクティブモード操作例

STEP 1 STEP 2 STEP 3

災害事例を選択



[生成型安全AI2.0起動]、[生成型安全AI2.0ブラウザ起動]ボタンのどちらかをタップします。どちらを起動しても機能は同じです。

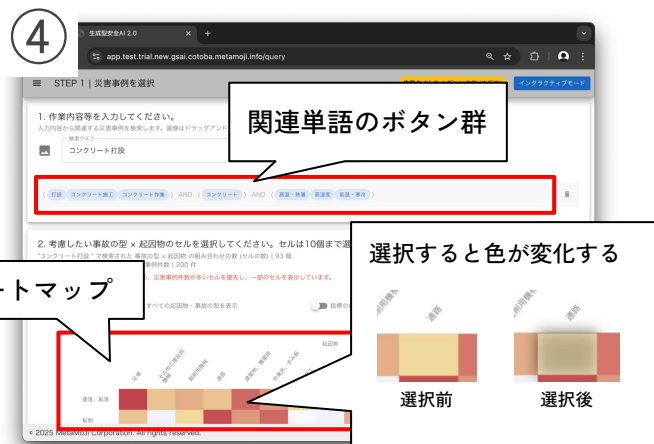


[インタラクティブモード]ボタンをタップします。



画像入力する場合、  
タップして任意の画像  
を選択する

検索クエリフォームに、リスク・予測したい作業内容等を入力します。検索クエリフォームに入力後、検索ボタンをタップします。画像入力もできます。

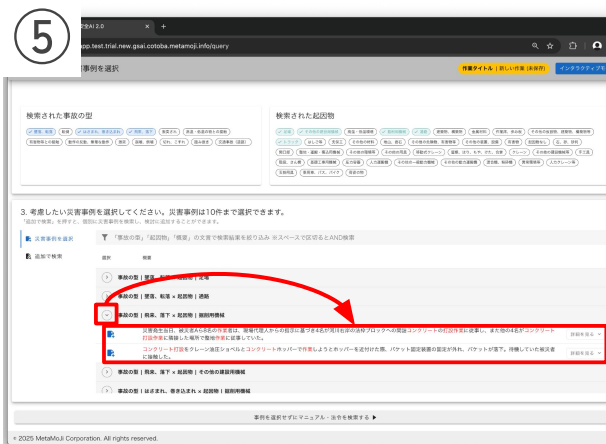


関連単語のボタン群

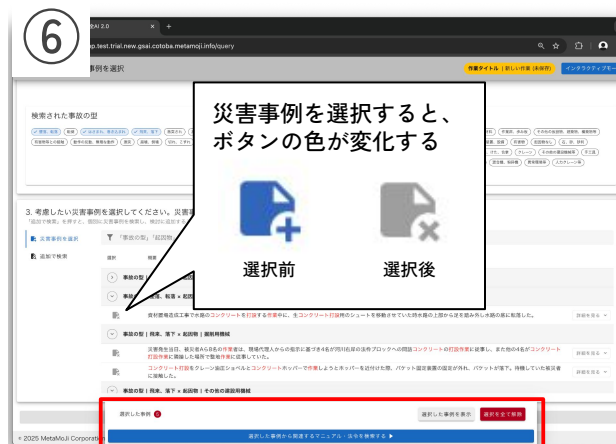
選択すると色が変わる

選択前 選択後

検索が終わると、関連単語のボタン群とヒートマップが表示されます。ヒートマップから、検討したい災害事例の事故の型（縦軸）と起因物（横軸）のセルを選択します。セルは10個まで選択できます。



ページの一番下には、選択したヒートマップのセルの事故の型・起因物が行として追加され、表示されます。行左側の展開ボタンを押すと、該当の事故の型・起因物に紐付く災害事例が表示されます。



災害事例を選択すると、  
ボタンの色が変わる

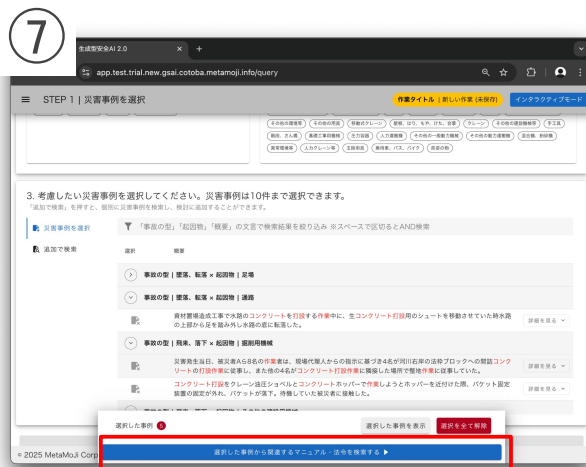
選択前 選択後

リスク・対策予測に考慮したい災害事例を選択します。ここでは、5件の災害事例を選択しました。ボトムシートに選択した事例数が表示されます。

## 3.2. インタラクティブモード操作例

STEP 1 STEP 2 STEP 3

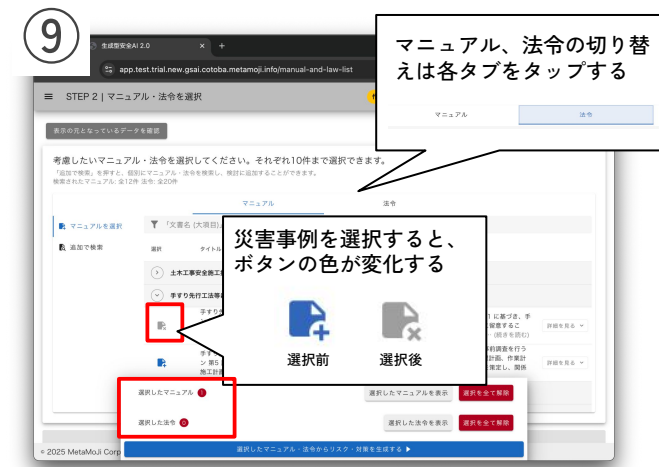
マニュアル・法令を検索・選択



(STEP 1の続き) ボトムシート内の「選択した事例から関連するマニュアル・法令を検索する」ボタンをタップします。



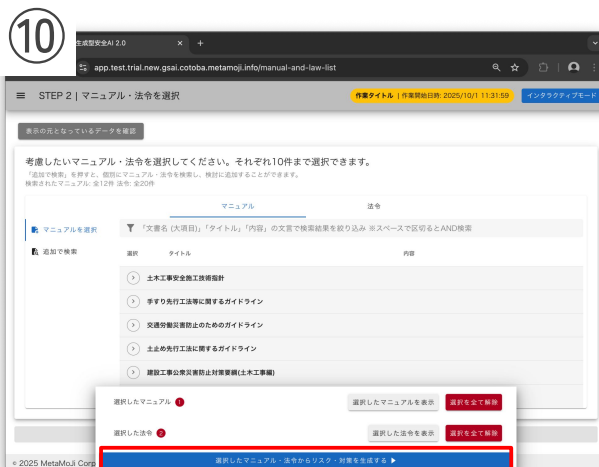
STEP 1で選択した災害事例をもとに、関連するマニュアル・法令の検索結果が表示されます。



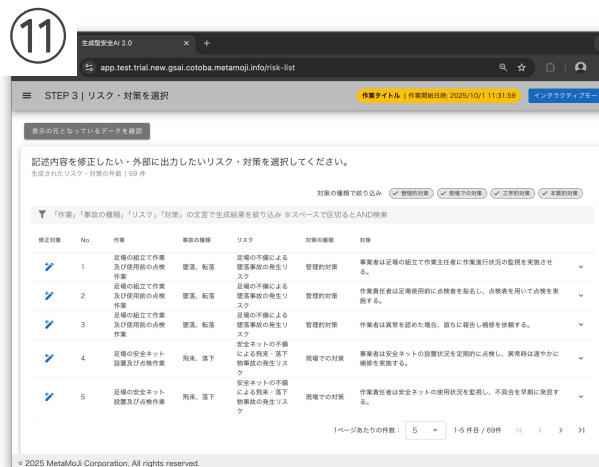
STEP 1の災害事例の選択(⑥)と同様、リスク・対策生成時に考慮させたいマニュアル・法令の選択ボタンをタップします。ボトムシートに選択した数が表示されます。

## 3.2. インタラクティブモード操作例

STEP 1 → STEP 2 → STEP 3  
修正・出力したいリスク・対策を編集



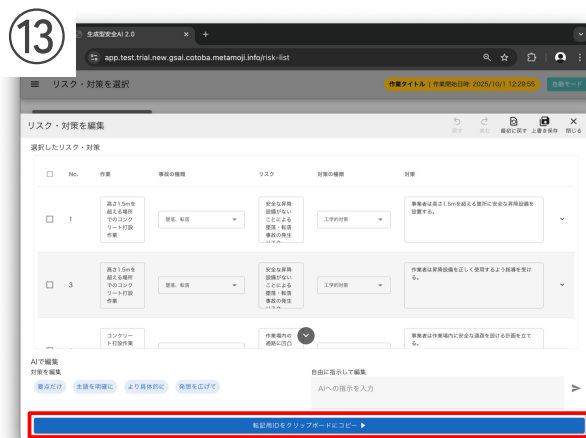
(STEP 2の続き)「選択したマニュアル・法令からリスク・対策を生成する」ボタンをタップします。



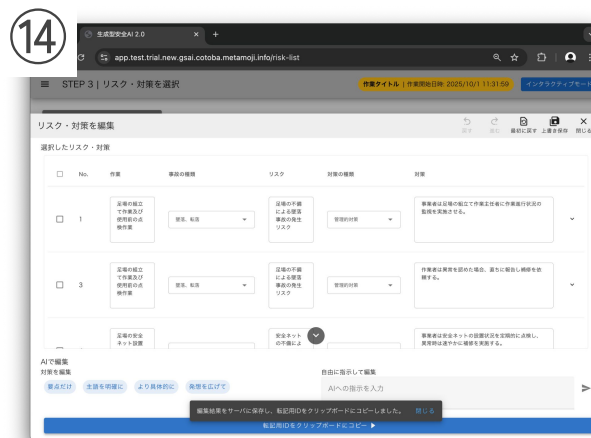
これまで選択した災害事例、マニュアル・法令をもとに、リスク・対策を生成した結果が表示されます。



eYACHO/GEMBA Noteに転記したい項目を選択し、「修正・転記」ボタンをタップします。



リスク・対策を編集画面が表示されます。生成されたリスク・対策を修正できます。「転記用IDをクリップボードにコピー」ボタンをタップします。



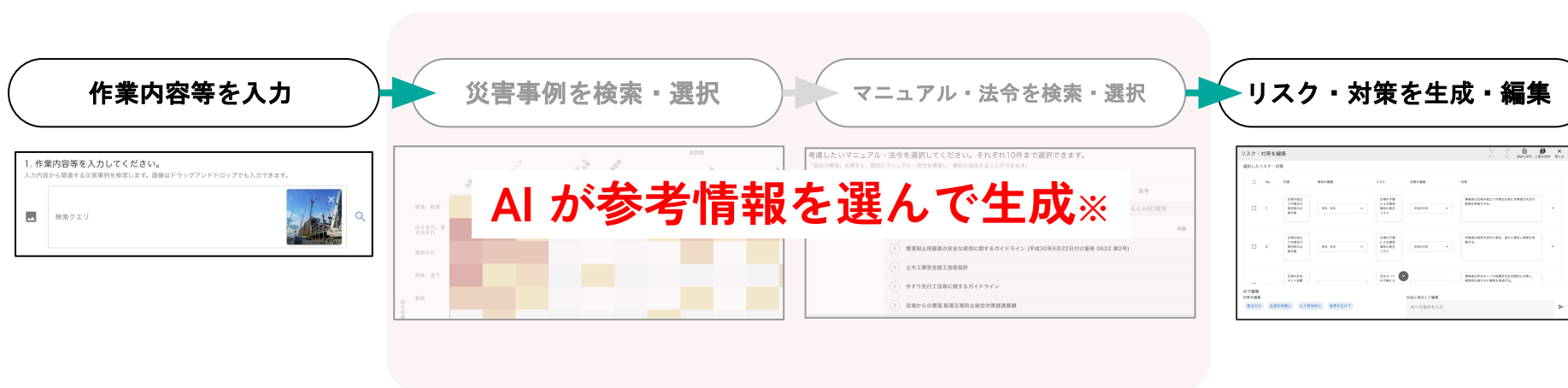
転記用IDがクリップボードにコピーされます。転記様IDをワークシートに貼り付けることでeYACHO/GEMBA Noteにリスク・対策を転記できます。ワークシート章を参照ください。

## 4.1. 自動モードとは

自動モードとは、AI が自動的に選択した災害事例やマニュアル・法令を基にリスク・対策を生成するモードです。

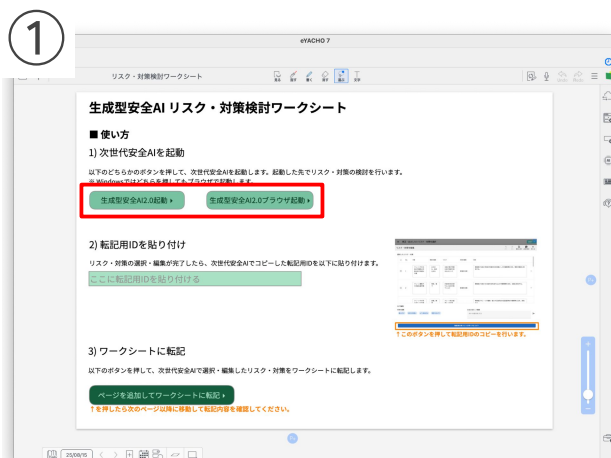
自動モードでは、作業内容等を入力するだけで、リスク・対策の生成が行われます。

### ● 自動モード（AIが参考情報を選んで生成）

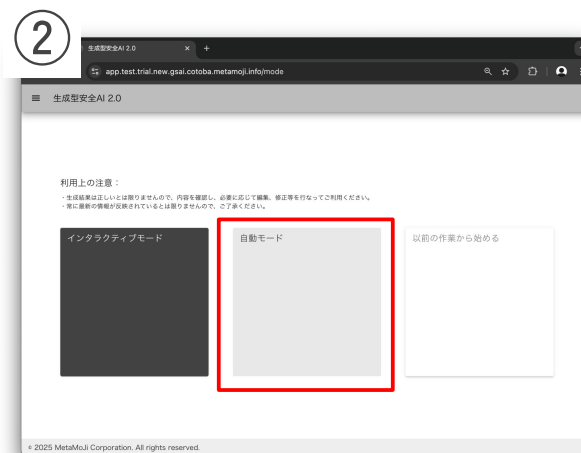


※ AIによって、参考情報を基にインタラクティブモードの STEP1 と STEP2 部分が自動生成されます。

## 4.2. 自動モード操作例



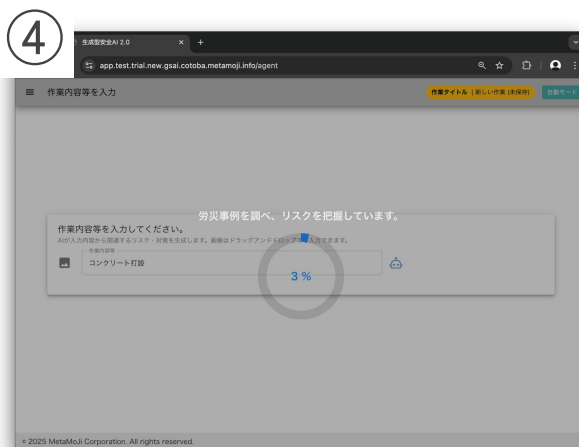
[生成型安全AI2.0起動]、[生成型安全AI2.0ブラウザ起動]ボタンのどちらかをタップします。どちらを起動しても機能は同じです。



[自動モード]ボタンをタップします。



検索クエリフォームに、リスク・予測したい作業内容等を入力します。検索クエリフォームに入力後、検索ボタンをタップします。画像入力もできます



自動で以下を行います。  
・労災事例を調べ、リスクを把握  
・検討するリスクを選択  
・関連するマニュアル・法令を取得、選択  
・リスク・対策を検討

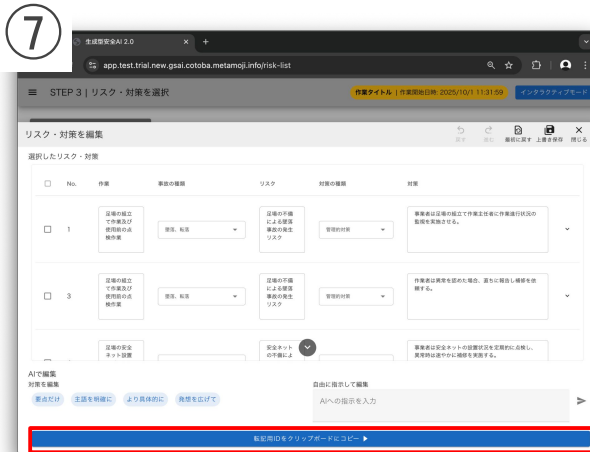


AIによるリスク・対策の生成結果が表示されます。

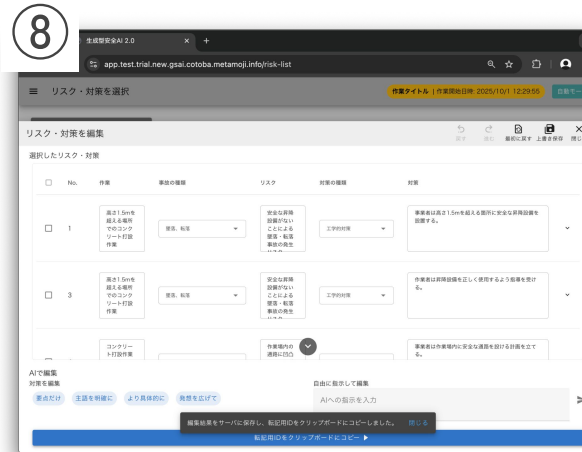


eYACHO/GEMBA Noteに転記したい項目を選択し、「修正・転記」ボタンをタップします。

## 4.2. 自動モード操作例



リスク・対策を編集画面が表示されます。  
生成されたリスク・対策を修正できます。  
「転記用IDをクリップボードにコピー」ボタンをタップします。

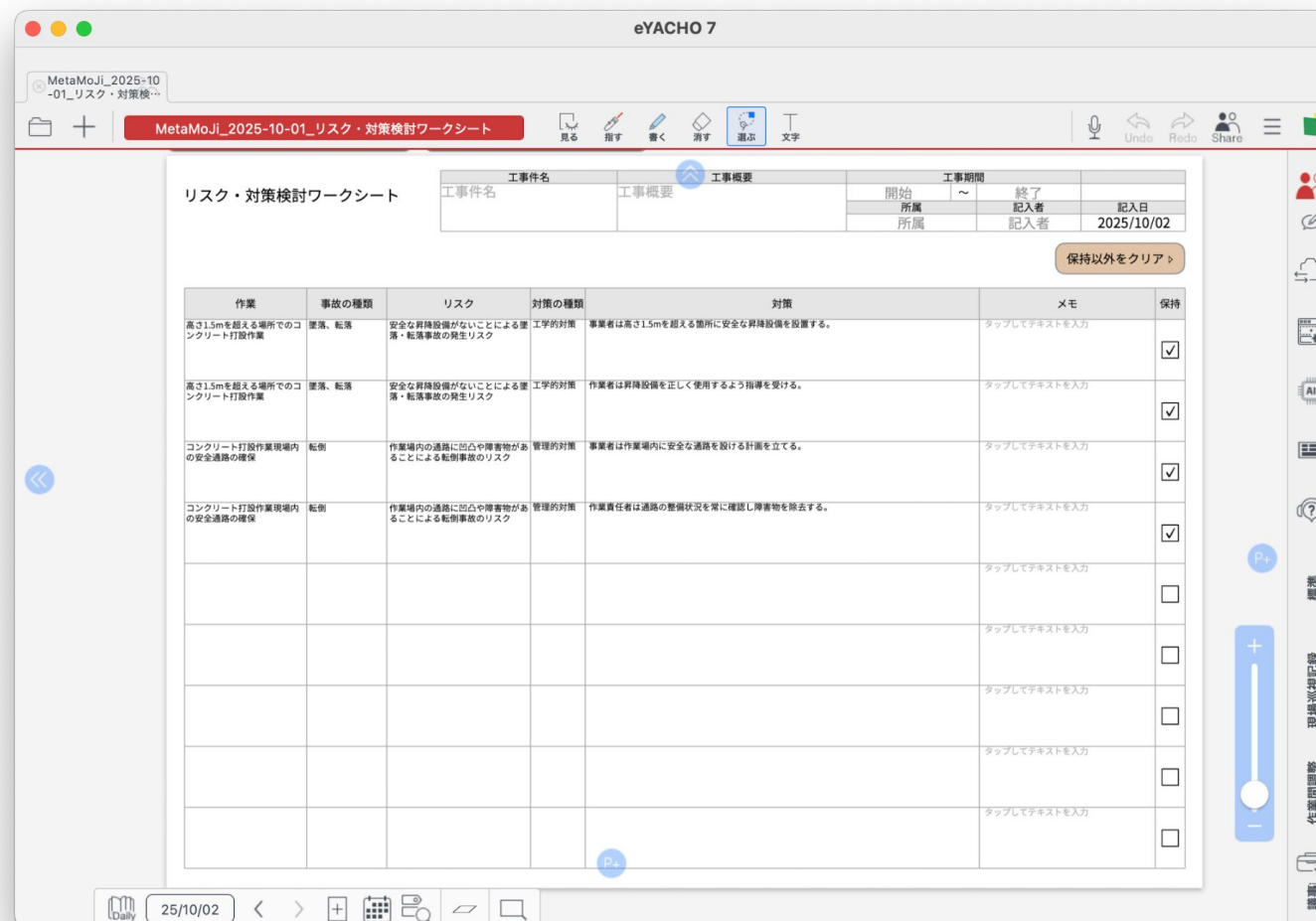


転記用IDがクリップボードにコピーされます。  
転記様IDをワークシートに貼り付けることで  
eYACHO/GEMBA Noteにリスク・対策を転記で  
きます。ワークシート章を参照ください。

## 5. ワークシート

## 5.1. ワークシートとは

ワークシートとは、各モード (インタラクティブモード、自動モード) で生成し、選択したリスク・対策を転記するための eYACHO/GEMBA Note の専用帳票です。



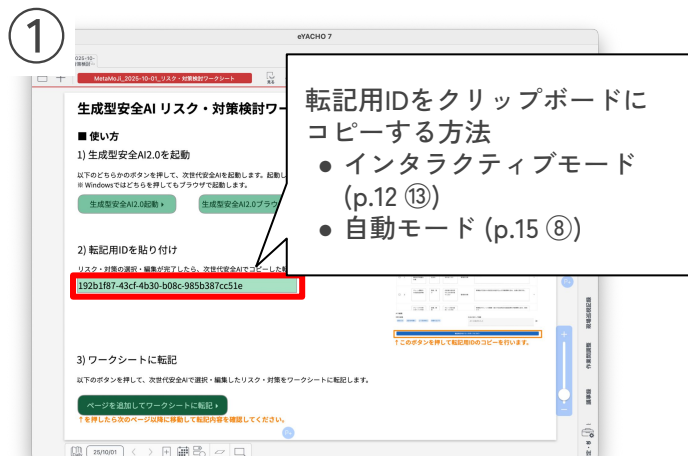
リスク・対策検討ワークシート

| 工事件名                     |       | 工事概要                           |          | 工事期間                           |              | 記入日                                 |
|--------------------------|-------|--------------------------------|----------|--------------------------------|--------------|-------------------------------------|
| 工事件名                     | 工事概要  | 開始<br>所属                       | 終了<br>所属 | 記入者                            | 2025/10/02   |                                     |
| 高さ1.5mを超える場所でのコンクリート打設作業 | 墜落、転落 | 安全な昇降設備がないことによる墜落・転落事故の発生リスク   | 工学的対策    | 事業者は高さ1.5mを超える箇所に安全な昇降設備を設置する。 | タップしてテキストを入力 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 高さ1.5mを超える場所でのコンクリート打設作業 | 墜落、転落 | 安全な昇降設備がないことによる墜落・転落事故の発生リスク   | 工学的対策    | 作業者は昇降設備を正しく使用しよう指導を受ける。       | タップしてテキストを入力 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| コンクリート打設作業現場内の安全通路の確保    | 転倒    | 作業場内の通路に凹凸や障害物があることによる転倒事故のリスク | 管理的対策    | 事業者は作業場内に安全な通路を設ける計画を立てる。      | タップしてテキストを入力 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| コンクリート打設作業現場内の安全通路の確保    | 転倒    | 作業場内の通路に凹凸や障害物があることによる転倒事故のリスク | 管理的対策    | 作業責任者は通路の整備状況を常に確認し障害物を除去する。   | タップしてテキストを入力 | <input checked="" type="checkbox"/> |
|                          |       |                                |          |                                | タップしてテキストを入力 | <input type="checkbox"/>            |
|                          |       |                                |          |                                | タップしてテキストを入力 | <input type="checkbox"/>            |
|                          |       |                                |          |                                | タップしてテキストを入力 | <input type="checkbox"/>            |
|                          |       |                                |          |                                | タップしてテキストを入力 | <input type="checkbox"/>            |
|                          |       |                                |          |                                | タップしてテキストを入力 | <input type="checkbox"/>            |

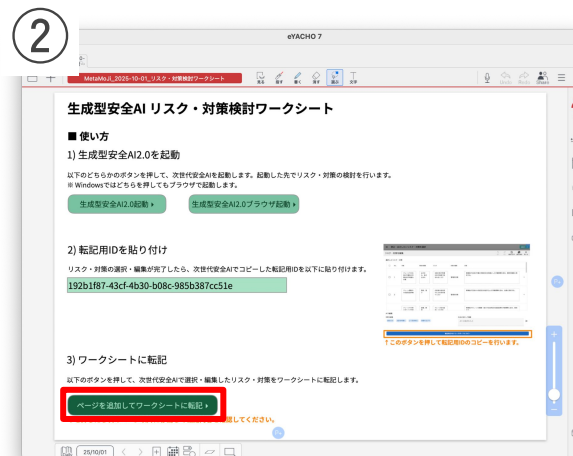
保持以外をクリア

25/10/02

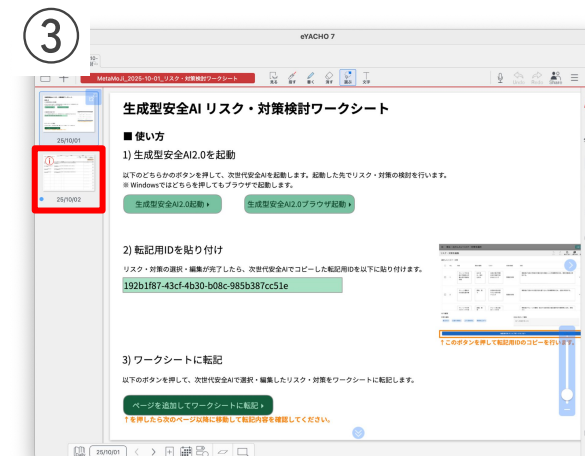
## 5.2. ワークシートへの転記方法



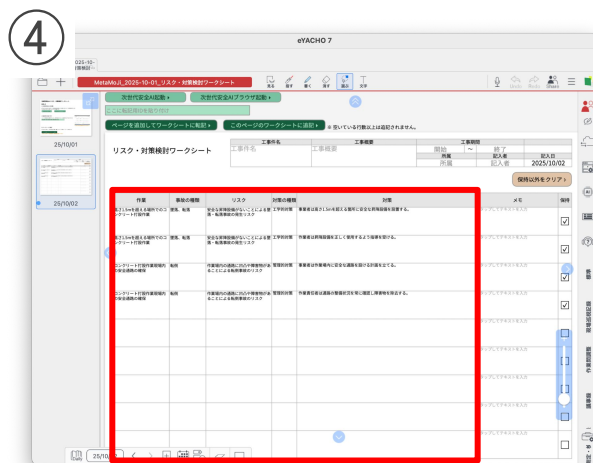
各モード（インタラクティブモード、自動モード）でクリップボードにコピーした転記用IDを貼り付けます。



[ページを追加してワークシートに転記]ボタンをタップすると、次ページにワークシートが新規作成されます。



新規作成されたワークシートをタップします。



転記用IDに紐づく「作業」、「事故の種類」、「リスク」、「対策の種類」、「対策」がワークシートに転記されています。

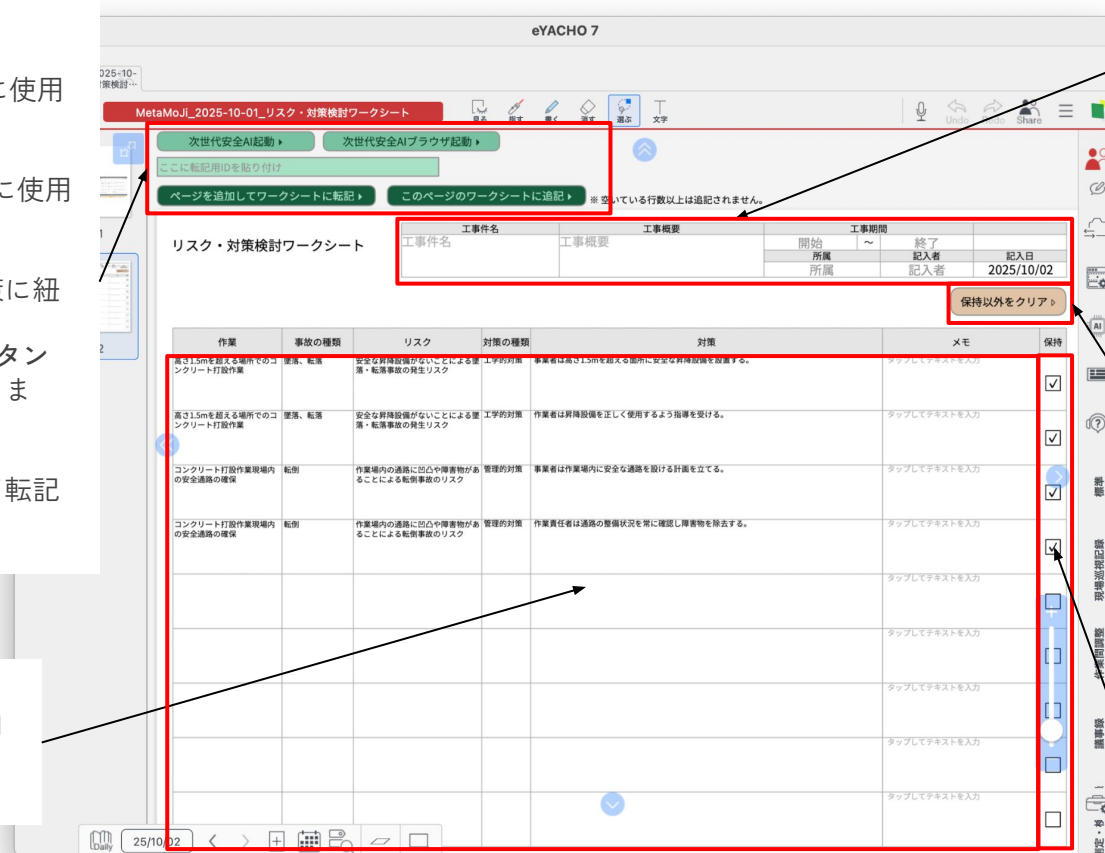
## 5.3. ワークシートの機能

### 生成型安全 AI 関連ボタン群

- ・「生成型安全AI 起動」ボタン
  - 生成型安全AI をアプリ内で起動する場合に使用します。
- ・「生成型安全 AI ブラウザ起動」ボタン
  - 生成型安全 AI をブラウザで起動する場合に使用します。
- ・「転記用 ID を貼り付け」フィールド
  - クリップボードにコピーしたリスク・対策に紐づくIDを貼り付けます。
- ・「ページを追加してワークシートに転記」ボタン
  - 新規ワークシートに転記する場合に使用します。
- ・「このページのワークシートに追記」ボタン
  - 既存のワークシートの続きの行に追加して転記する場合に使用します。

### 転記フィールド

各モード（インタラクティブモード、自動モード）で生成したリスク・対策から選択した行が転記されます。



The screenshot shows the 'eYACHO 7' application interface. At the top, there are buttons for '次世代安全AI起動' (Next-Generation Safety AI Activation) and '次世代安全AIブラウザ起動' (Next-Generation Safety AI Browser Activation). Below these are buttons for 'ここに転記用IDを貼り付け' (Paste transfer ID here), 'ページを追加してワークシートに転記' (Add page to worksheet), and 'このページのワークシートに追記' (Add to this page's worksheet). The main part of the screen is a 'リスク・対策検討ワークシート' (Risk Assessment Worksheet) table. The table has columns for '作業' (Work), '事故の種類' (Type of Accident), 'リスク' (Risk), '対策の種類' (Type of Countermeasure), '対策' (Countermeasure), 'メモ' (Memo), and '保持' (Keep). The '保持' column has checkboxes. A '保持以外をクリア' (Clear except keep) button is located at the bottom right of the table. The table contains several rows of data related to construction safety.

### 工事情報入力フィールド

- ・工事件名: テキストフィールド
- ・工事概要: テキストフィールド
- ・工事期間: 日時入力フィールド
- ・所属: 1行テキストフィールド
- ・記入者: 1行テキストフィールド
- ・記入日: 日時入力フィールド

### 保持以外をクリアボタン

ワークシート転記後にタップすると、「保持」列にチェックが入っていない行はクリアされます。クリアされた行は自動的に詰められ、上に移動して表示されます。

### 保持チェックボックス

ワークシート転記後、自動的にチェックが入ります。チェックの入った行は、転記（追記）の際に上書きされず、「保持以外をクリア」ボタンを押しても値はクリアされません。

## 6. 付録

## 6.1. 留意事項

- 本書には、生成型安全AI 2.0（公開データ版）の簡易操作手順が記載されています。詳細操作手順書をご希望の場合は、別途お問い合わせください。
- ご利用にあたっては、以下の点にご注意ください。
  - iOS版「eYACHO for Business 7」「GEMBA Note for Business 7」バージョン7.1.1（2025/10/6現在）以上で動作確認済みです。
  - eYACHO/GEMBA NoteアプリのインストールやアップデートはApp Store／Microsoft Storeから行ってください。アップデート後はバージョンを戻せません。
  - 生成型安全AI 2.0（公開データ版）の仕様や機能は予告なく変更される場合があります。
  - ご利用に伴う問題や損失について、当社は責任を負いかねます。

## 6.2. 動作環境

生成型安全AI 2.0（公開データ版）は、以下の環境でサポートされています。

- 対応アプリケーション
  - eYACHO for Business 7 および GEMBA Note for Business 7 以降
- 対応OS
  - iOS、Windows
- ライセンス
  - スタンダードエディション以上
- 管理ツール設定
  - お使いの法人に「生成型安全AI」のサーバライセンスが付与されている。
  - Web管理ツール利用機能の設定で、利用ユーザーの生成型安全AIがONになっている。